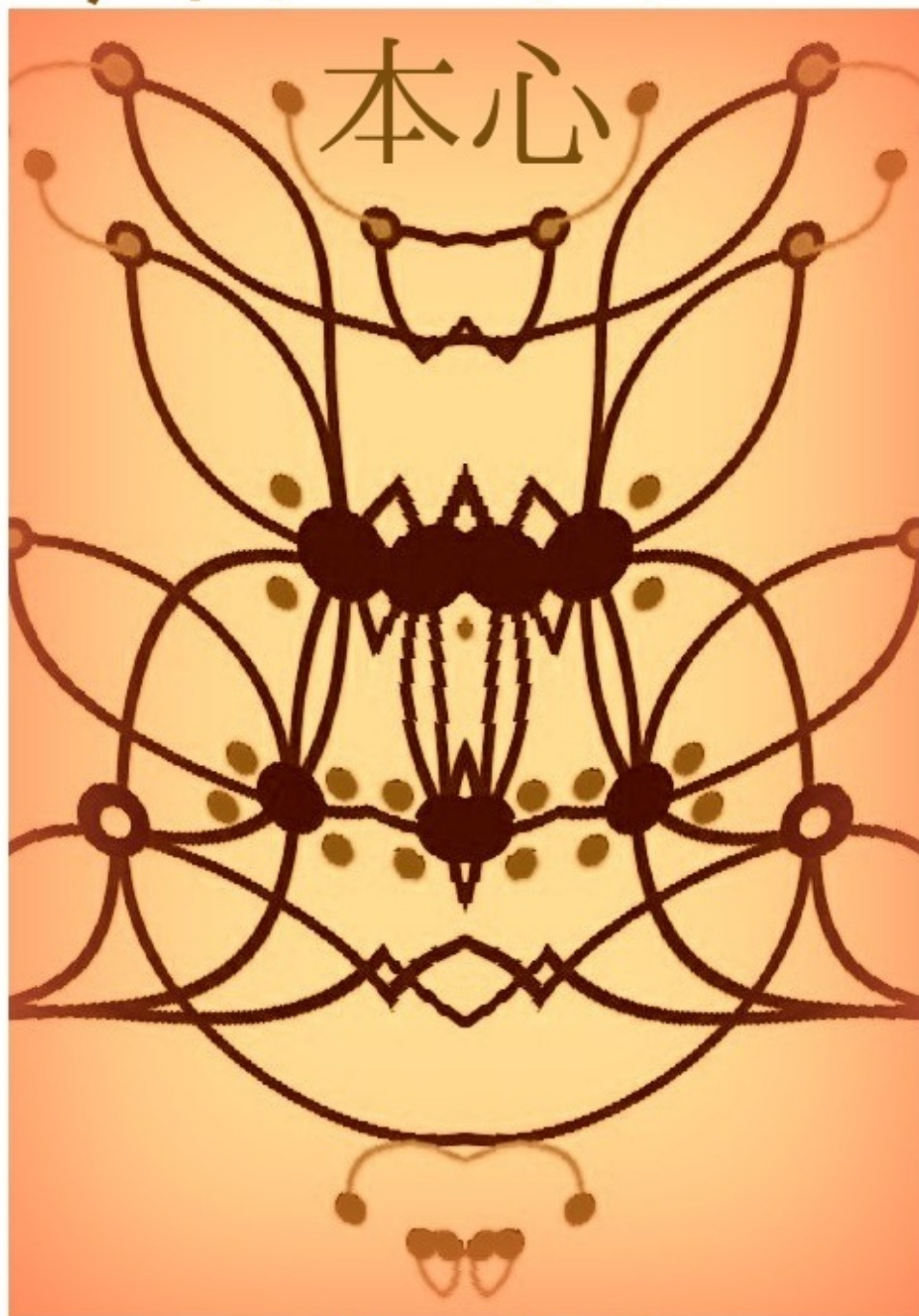


今日のボクの

本心



mikatuki98

時は1999年9月9日のある時刻。

今日のボクの本心はこうらしい。

ボクの中には「鼎（てい）」と呼ばれる三本の足がある。

「鼎」とは三本の足を持った「なべ」のことらしいが、これは例え話でボクの心を支えるものが三本あるということ。

まず一本目はキミだ。

二本目は仕事。

そして三本目は家族やキミ以外の異性や友人。

それらはどれもボクにとって大切な存在だと言う。

しかしそう言われても果してそうなのかな？ と思ったが、なるほど確かにそうなのかもしれないとも思った。

ただ、これはボクだけに限ったことでもないような気もする。

つまり、どの一つにも特別に重きを置けないのだろう。

だから、三本のうちの一本であるキミがボクに特別を望んでも、それは不可能ということだ。

つまり、キミはそここのことを理解して協力してくれなくてははいけない。

他の二本を忘れてキミと二人きりになるのが、結局難しかったりするんだ。

しかしだ。

冷静に考えてみたまえよ！

恋とは二人の世界の境地だが、恋の存在するこの世に生きてる限り他の存在を否定したり無視したりすることは、全ての人間において不可能なんだ。

多分、自覚の無いままに皆自分の心のバランスを保っているはずなんだ。

なんて言い訳を必死にしているボクは、キミを少し恋心から遠ざけているのだろうね。

だから、他人の本心なんて本当は知らない方がいいんだよ。

それにこれはあくまでも、今日のボクの本心なんだからね。

さて、今日のボクの本心をキミがココで知った日付はいつだい？